

Webアクセシビリティの基礎

2023年11月8日

ウェブアクセシビリティ基盤委員会 委員長
中村 精親（株式会社ミツエーリンクス）

自己紹介

ウェブアクセシビリティ基盤委員会（WAIC）委員長
中村 精親（なかむら きよちか）

株式会社ミツエーリンクス
アクセシビリティ部ゼネラルマネージャー



アクセシビリティ・スペシャリストとして、Webサイト構築時の監修や検証を行うほか、企業向けガイドラインの監修、作成なども担当

ウェブアクセシビリティ基盤委員会 (WAIC)

JIS X 8341-3の理解と普及を促進するとともに、JIS X 8341-3を利用してウェブアクセシビリティを高めていくために必要な基盤の構築を目指し、さまざまな活動を行っています。



The screenshot shows the homepage of the Web Accessibility Infrastructure Committee (WAIC). The header includes the WAIC logo and name in both English and Japanese, a search bar, and a navigation menu with items like Home, Basic Knowledge, Guidelines, Q&A, Seminars, Reference Materials, and News. The main content area is divided into two columns. The left column features sections for 'Accessibility is...' and 'Process', with the latter listing three steps: 1. Policy formulation and publication, 2. Accessible content creation, and 3. Implementation and results publication. The right column features a 'Guidelines' section with links to JIS X 8341-3 related documents and WCAG 2.0 related documents. A search bar is located at the top right of the page.

株式会社ミツエーリンクス

主な事業はWebインテグレーション事業



ミツエーリンクス
<https://www.mitsue.co.jp/>

なぜWebアクセシビリティが
重要なのか

Webアクセシビリティとは

Web
(サイトやアプリケーション)
のアクセシビリティ



Webはさまざまな方法で閲覧が可能

例：マルチデバイス環境

- PC/ディスプレイ
- スマートフォン
- タブレット



Webを紙などと比較した場合……

さまざまな調整が実現可能

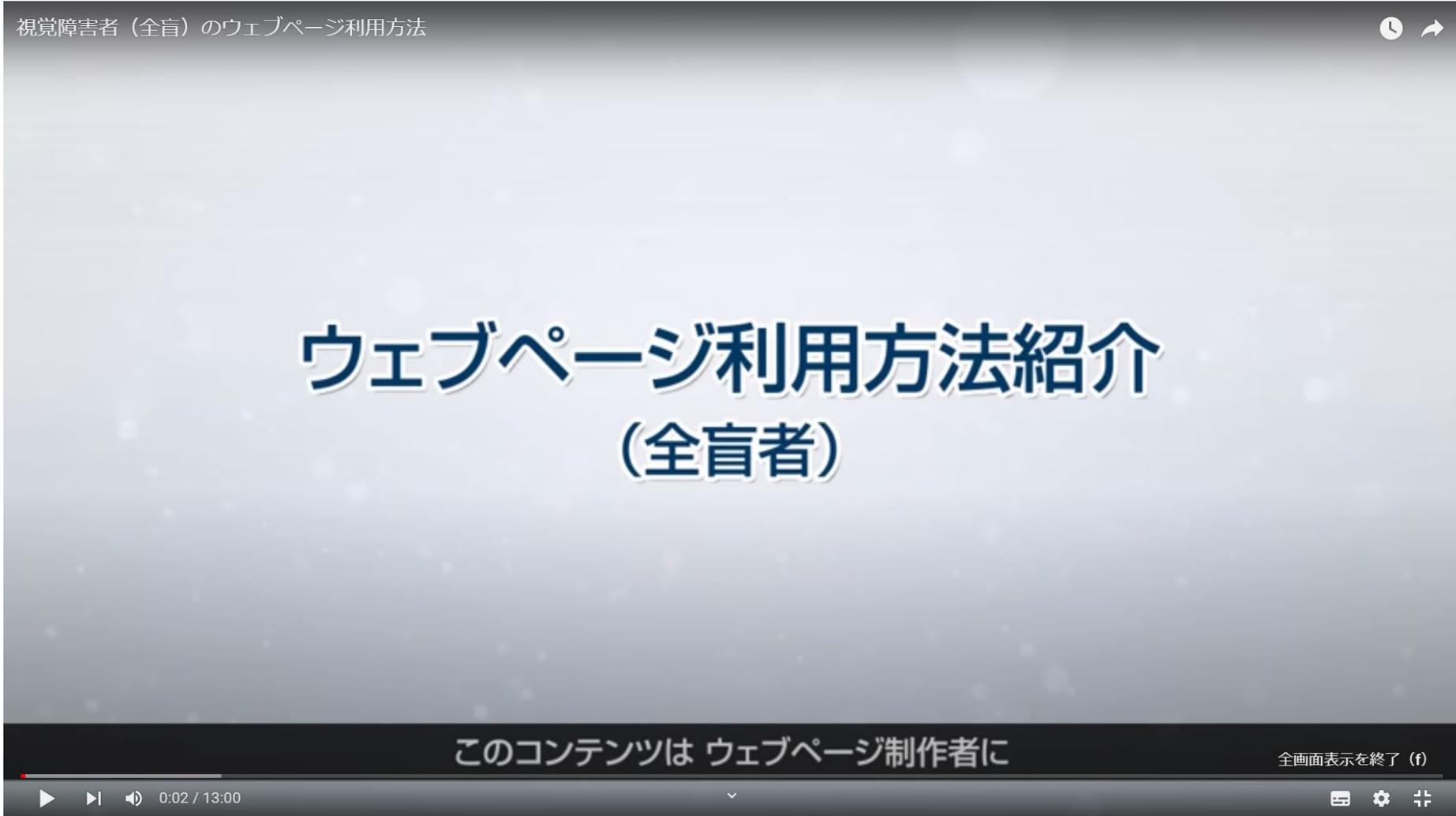
- テキストを音声で読み上げる
- テキストを大きくしたり、小さくしたりする
- テキストや背景の色を変える
などなど……



閲覧環境の例：スクリーンリーダー

- 主に全盲の視覚障害者が利用する
- PCやスマートフォンなどさまざまな機器の画面に表示された内容を読み上げる



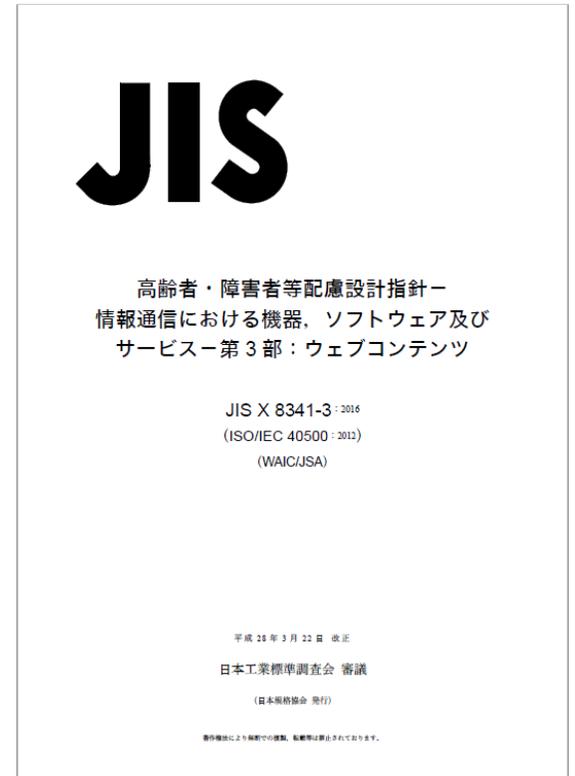


視覚障害者（全盲）のウェブページ利用方法 - YouTube
<https://www.youtube.com/watch?v=RLIKacl05fE>

Webアクセシビリティに関する規格

JIS X 8341-3

- Webアクセシビリティを確保するための規格がある
- さまざまな環境からアクセスできるようにするために満たすべき基準が定められている



規格で求められる基準の例

- 画像の情報を「代替テキスト」として記載することでその内容を音声などでも伝えられるようにする



HTMLのソースコード例
`alt="アクセシビリティ診断サービス"`

画像であることと、テキストとして書かれている内容を読み上げることができる

さまざまな環境からのアクセスが可能になる

- 「代替テキスト」が記載されていることで、画像が表示されなくても情報が取得できる

 アクセシビリティ診断サービス

HTMLのソースコード例
`alt="アクセシビリティ診断サービス"`

画像が表示できていないが、問題なく情報が取得できる

まとめ

- Webはさまざまな方法でアクセスが可能な環境である
- その環境を活かすためにはアクセシビリティの確保が重要であり、そのための規格を認識し、活用いただきたい